

あなたは必要な存在

私たちには、生涯でいくつの出会いがあるのでしょうか。具体的な数字は人それぞれ違うと思いますが、誰もがたくさんの人と出会い、そのたくさんの出会いの中で生きていくことに間違いはありません。とはいえ、世界の人口が約 82 億人ということを考えると、生涯で出会える人はごくわずかで、出会えない人の方がはるかに多いのです。つまり、この美香保中学校での私たちの出会いは、まさしく‘奇跡’と言えます。

さて、今日は奇跡の出会いの中で過ごしたこの1年間の締めくくりの日です。

私は入学式で、新入生だけでなく、全校生徒に向けて、『ばらばらで一緒』の学校を創りたい。『ばらばらで一緒』の学校づくりの主役は皆さん一人一人です。」と伝えました。その後も、皆さんにお話していただける機会を大切にして、「火種と大きな炭」「一生懸命には一生懸命」「みんな・自由・自分らしく」「粘り強く挑む力と心をつなぐコミュニケーション力」「心のもち方一つで未来は変わる」など、『ばらばらで一緒』の学校づくりにつながるお話をしてきました。「この思いや願いが一人一人に届きますように。」と、そんな気持ちを込めて。

この1年間を通じて、「私が投げたボールをみんなはちゃんとキャッチしてくれている。」と実感することができ、とても嬉しく思っています。特に、皆さんの自治的な活動の様子を見て、私はそう実感することができました。

例えば、美中オリンピック。保体常任委員会の皆さんが火種となって企画し、出場者や応援する人が大きな炭となって大変盛り上がる取組となりました。学年混合のチームで競技に臨んだり、全ての学年がごちゃ混ぜになって応援をしたりするなど、「みんな」を意識した異学年交流の場でもありました。一方で、教室で友達と談笑する人や勉強をする人、図書室で本を読む人もおり、それぞれが「自由」に過ごす姿も見られました。じゃんけん大会やドッチボール大会なども同様です。「みんながみんなの中で自由に自分らしく生きられる生徒会づくり」が、皆さん自身の手によって進められてきました。自分たちの思いや願いを実現していくパワーを皆さんからたくさん感じることでできる1年間でした。そんな皆さんに拍手を送ります。

「ばらばらで一緒」の学校づくりには、自治的な活動は欠かせません。そして、自治的な活動には、「みんな」が必要です。「みんな」の中には、もちろん‘あなた’も含まれます。そう、**あなたは、チーム美香保中にとって、必要な存在なのです。**これからも、お互いに必要な存在として信頼し合えるチームをより一層創り上げていきましょう。

最後となりますが、この奇跡の出会いの中で、「本当にこれは頑張った。」という《手応え》をそれぞれが何かしら感じ取っているはずです。今日、ココにたどり着いたということそのものが、《手応え》と言えるかもしれません。

明日から春休みですが、この1年の《手応え》を感じながら、皆さんには、「自己対話」を大切に、進級に向けての心の準備をして欲しいと思います。「自己対話」とは、言い換えると、「自分と向き合う」ということになります。今の自分を知ることは、これからの自分を考える糧となります。そして、この「自己対話」の先にあるのが、「自己決定」です。今の自分を知り、「自分はどうしたいのか」を考え、そして、「こうする」と自分で決める。自分で決めたことはそう簡単にはあきらめたりはしないものです。最上級生になって、または2年生になって、どんな自分を創り上げていきますか。

新年度の1学期始業式、新たな決意を胸に秘めたあなたに会えることを私は楽しみにしています。それでは、心を込めて伝えます。いってらっしゃい。

(070325 修了式 校長挨拶より)